



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月5日

上場会社名 株式会社 F U J I 上場取引所 東 名
 コード番号 6134 URL <https://www.fuji.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 曾我 信之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員コーポレート本部 (氏名) 加納 淳一 TEL 0566-81-2111
 本部長
 四半期報告書提出予定日 2022年8月8日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	39,233	1.2	7,190	△18.7	8,538	△7.5	5,935	△8.2
2022年3月期第1四半期	38,761	2.5	8,845	37.5	9,232	32.1	6,467	30.7

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 8,528百万円 (36.3%) 2022年3月期第1四半期 6,257百万円 (△7.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	61.54	—
2022年3月期第1四半期	67.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	244,904	213,935	87.3
2022年3月期	243,310	208,782	85.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 213,812百万円 2022年3月期 208,665百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	40.00	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	79,000	8.9	13,400	△9.2	14,500	△4.9	10,500	△6.0	108.87
通期	165,000	11.4	29,200	2.6	30,600	2.2	21,800	2.9	226.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	97,823,748株	2022年3月期	97,823,748株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	1,378,065株	2022年3月期	1,378,045株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	96,445,694株	2022年3月期1Q	96,433,084株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料の4ページをご参照ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料につきましては、2022年8月5日に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	10
3. その他	12
(1) 受注及び販売の状況	12
(2) 顧客との契約から生じる収益を分解した情報	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、資源価格の高騰や円安の進行により物価が上昇したものの活動制限の緩和を背景に個人消費は持ち直しが持続し、企業の設備投資も高水準の企業収益に下支えされ回復基調が続きました。世界経済は、欧州では物価高やウクライナ情勢に対する先行き懸念により景気が減速した一方、中国では活動制限の緩和により景気に持ち直しの動きが見られ、北米では堅調な個人消費に下支えされ景気の回復が持続し、企業の設備投資も堅調に推移しました。しかし、製造業において、中国のロックダウンやロシアのウクライナ侵攻をきっかけとしたサプライチェーンの混乱による生産・販売への影響は全世界的に先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のなかで、当グループは、『お客様に感動を！』のコーポレートスローガンのもと、ロボット技術を軸に時代を捉え未来を切り拓いていくことを成長戦略の基本とし、変革にチャレンジしてまいりました。来たるべき未来を見据えた魅力ある製品の開発に取り組み、主力の電子部品実装ロボットの分野では、お客様の生産自動化・省人化を実現するためにハイエンドモデル「NXTR」を軸としたSMTラインのスマートファクトリー化を推進してまいりました。さらに、医療分野への進出に向けてカテーテル医療を支援する「エコーガイドロボット」を開発し、医師による評価試験を実施するなど、社会的課題解決に向けた新規事業の創出にも積極的に取り組んでおります。また、工作機械の分野では、主力機種「CS」「TN」シリーズのバージョンアップにより、標準機としての汎用性を高めるとともに国内外販売網を強化して新たな市場への拡販を進めてまいりました。そのほか、カーボンニュートラルに向けて環境に配慮した省エネ設計、ものづくりの効率化を推進するとともに、DXを積極的に取り入れることで、ペーパーレス化やWEB会議、テレワークの推進をはじめとする業務改革により固定費の一層の削減などに取り組み、収益性の向上を目指してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は39,233百万円となり、前第1四半期連結累計期間と比べて471百万円(1.2%)増加しました。一方、部材の価格高騰および供給不足により、営業利益は7,190百万円と、前第1四半期連結累計期間に比べて1,654百万円(18.7%)減少しました。また、為替市場における円安の進行により為替差益が増加したことから、経常利益は8,538百万円と、前第1四半期連結累計期間に比べて694百万円(7.5%)減少にとどまり、親会社株主に帰属する四半期純利益は前第1四半期連結累計期間と比べて532百万円(8.2%)減少し、5,935百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

ロボットソリューション

車載および半導体関連の継続的な需要に後押しされ順調に推移するも、部材調達難により売上高は36,174百万円となり、前第1四半期連結累計期間と比べて710百万円(1.9%)減少しました。また、営業利益は8,181百万円となり、前第1四半期連結累計期間と比べて1,472百万円(15.3%)減少しました。

マシンツール

北米を中心とする自動車関連設備でようやく回復基調に転じ始めました。この結果、売上高は2,215百万円となり、前第1四半期連結累計期間と比べて620百万円(38.9%)増加しましたが、営業損益は112百万円の損失(前年同四半期：営業利益0百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は167,862百万円となり、前連結会計年度末から1,883百万円増加しました。これは主に、棚卸資産が6,769百万円増加した一方、未収消費税等（流動資産のその他に含みます）が5,015百万円減少したことによるものであります。固定資産は77,041百万円となり、前連結会計年度末と比べ290百万円減少しました。

この結果、資産合計は、244,904百万円となり、前連結会計年度末から1,593百万円増加しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は29,446百万円となり、前連結会計年度末と比べ3,591百万円減少しました。これは主に未払法人税等が3,354百万円減少したことによるものであります。固定負債は1,521百万円となり、前連結会計年度末から31百万円増加しました。

この結果、負債合計は、30,968百万円となり、前連結会計年度末と比べ3,559百万円減少しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は213,935百万円となり、前連結会計年度末から5,152百万円増加しました。これは主に、配当金の支払により利益剰余金が3,375百万円減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が5,935百万円、為替市場における円安の進行により為替換算調整勘定が3,136百万円増加したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比べ4,173百万円減少し55,365百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは1,100百万円の収入（前年同四半期：5,501百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益や未収消費税等の減少額などのプラス要因が、棚卸資産の増加額や法人税等の支払額などのマイナス要因を上回ったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは3,063百万円の支出（前年同四半期：2,159百万円の支出）となりました。これは主に有形及び無形固定資産の取得による支出などによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは3,335百万円の支出（前年同四半期：2,849百万円の支出）となりました。これは主に配当金の支払額によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

ロボットソリューション事業において、米国を中心に通信インフラ、サーバー、EV関連で旺盛な設備投資需要が見込まれるため、2022年5月13日に公表いたしました第2四半期累計期間および通期の連結業績予想数値を以下の通り修正いたします。

2023年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（2022年4月1日～2022年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	80,000	13,500	13,600	10,000	103.69
今回発表予想 (B)	79,000	13,400	14,500	10,500	108.87
増減額 (B - A)	△1,000	△100	900	500	—
増減率 (%)	△1.3	△0.7	6.6	5.0	—
前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	72,558	14,762	15,241	11,165	115.77

2023年3月期通期連結業績予想数値の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	157,000	28,500	28,700	20,600	213.59
今回発表予想 (B)	165,000	29,200	30,600	21,800	226.03
増減額 (B - A)	8,000	700	1,900	1,200	—
増減率 (%)	5.1	2.5	6.6	5.8	—
前期実績 (2022年3月期)	148,128	28,472	29,943	21,188	219.70

(注) 上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	59,481	55,236
受取手形及び売掛金	38,972	42,844
有価証券	7,579	7,944
商品及び製品	14,434	14,058
仕掛品	24,484	27,729
原材料及び貯蔵品	12,417	16,317
その他	8,705	3,837
貸倒引当金	△96	△105
流動資産合計	165,978	167,862
固定資産		
有形固定資産	26,337	26,992
無形固定資産		
のれん	11,642	11,395
その他	14,167	14,057
無形固定資産合計	25,809	25,452
投資その他の資産		
投資有価証券	20,433	19,351
退職給付に係る資産	2,362	2,479
その他	2,388	2,766
投資その他の資産合計	25,184	24,597
固定資産合計	77,331	77,041
資産合計	243,310	244,904
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,463	11,784
未払法人税等	5,960	2,605
製品保証引当金	812	819
その他	13,801	14,236
流動負債合計	33,037	29,446
固定負債		
退職給付に係る負債	326	337
その他	1,163	1,184
固定負債合計	1,490	1,521
負債合計	34,527	30,968
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,878	5,878
資本剰余金	7,077	7,077
利益剰余金	185,301	187,860
自己株式	△1,657	△1,657
株主資本合計	196,600	199,159
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,162	6,547
繰延ヘッジ損益	55	141
為替換算調整勘定	4,766	7,903
退職給付に係る調整累計額	80	60
その他の包括利益累計額合計	12,065	14,652
非支配株主持分	117	123
純資産合計	208,782	213,935
負債純資産合計	243,310	244,904

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	38,761	39,233
売上原価	22,939	23,893
売上総利益	15,821	15,339
販売費及び一般管理費	6,976	8,149
営業利益	8,845	7,190
営業外収益		
受取利息	18	26
受取配当金	329	241
為替差益	26	1,064
雑収入	17	31
営業外収益合計	391	1,364
営業外費用		
支払利息	0	1
支払手数料	1	1
寄付金	0	13
雑支出	1	0
営業外費用合計	4	16
経常利益	9,232	8,538
特別利益		
固定資産処分益	0	4
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	0	5
特別損失		
固定資産処分損	18	75
特別損失合計	18	75
税金等調整前四半期純利益	9,215	8,468
法人税、住民税及び事業税	3,235	2,568
法人税等調整額	△499	△32
法人税等合計	2,735	2,535
四半期純利益	6,479	5,932
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	11	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,467	5,935

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	6,479	5,932
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△82	△615
繰延ヘッジ損益	△3	85
為替換算調整勘定	50	3,145
退職給付に係る調整額	△185	△20
その他の包括利益合計	△221	2,595
四半期包括利益	6,257	8,528
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,248	8,522
非支配株主に係る四半期包括利益	9	6

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,215	8,468
減価償却費	1,752	2,074
のれん償却額	237	288
退職給付に係る資産負債の増減額	△356	△137
受取利息及び受取配当金	△347	△268
支払利息	0	1
固定資産処分損益 (△は益)	17	71
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△0
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,027	△2,564
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△5,369	△5,321
仕入債務の増減額 (△は減少)	399	△1,606
未収消費税等の増減額 (△は増加)	4,116	5,066
その他	3,474	497
小計	10,112	6,567
利息及び配当金の受取額	348	268
利息の支払額	△0	△1
法人税等の支払額	△4,959	△5,734
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,501	1,100
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,972	△3,095
有形及び無形固定資産の売却による収入	14	8
投資有価証券の取得による支出	△175	—
投資有価証券の売却による収入	—	42
定期預金の預入による支出	△17	△17
定期預金の払戻による収入	—	24
その他	△10	△26
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,159	△3,063
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△2,844	△3,314
その他	△5	△21
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,849	△3,335
現金及び現金同等物に係る換算差額	100	1,125
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	591	△4,173
現金及び現金同等物の期首残高	60,388	59,538
現金及び現金同等物の四半期末残高	60,980	55,365

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルスの感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、当グループの各拠点においては感染拡大リスク低減のための対応を実施した上で事業活動を継続しております。新型コロナウイルス感染拡大を契機とするテレワークの普及などを受け、サーバー・ネットワーク等のインフラ、パソコン、スマートフォン、さらにはこれらを支える半導体関連分野における設備投資が見込まれます。一方で、新型コロナウイルス感染症は世界的な広がりを見せているため、現時点では世界経済への影響がしばらく続くことを想定して、業績予想及び会計上の見積りを行っております。なお、不確実性がさらに高まった場合には、将来における実績値に基づく結果がこれらの見積り及び仮定とは異なる可能性があります。

また、中国子会社2社は現地当局によるロックダウンの影響により、事業活動に著しい制限を受けておりましたが、現時点では操業を再開しており、業績への影響は限定的なもの見込んでおります。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ロボット ソリューション	マシンツール	計		
売上高					
外部顧客への売上高	36,885	1,595	38,480	281	38,761
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	—	1	58	60
計	36,886	1,595	38,481	340	38,822
セグメント利益又は損失(△)	9,654	0	9,655	△65	9,590

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、制御機器製造、電子機器製造及び画像処理開発等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	9,655
その他の区分の利益又は損失(△)	△65
セグメント間取引消去	2
全社費用(注)	△747
四半期連結損益計算書の営業利益	8,845

(注) 全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ロボット ソリューション	マシンツール	計		
売上高					
外部顧客への売上高	36,174	2,215	38,390	842	39,233
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11	—	11	41	53
計	36,186	2,215	38,401	884	39,286
セグメント利益又は損失(△)	8,181	△112	8,069	△21	8,048

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、制御機器製造、電子機器製造及び画像処理開発等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	8,069
その他の区分の利益又は損失(△)	△21
セグメント間取引消去	2
全社費用(注)	△860
四半期連結損益計算書の営業利益	7,190

(注) 全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. その他

(1) 受注及び販売の状況

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

セグメントの名称	受注高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	受注残高 (百万円)	構成比 (%)
ロボットソリューション	43,048	94.0	36,885	95.2	48,227	90.9
マシンツール	2,443	5.3	1,595	4.1	4,534	8.5
報告セグメント計	45,491	99.3	38,480	99.3	52,761	99.4
その他	328	0.7	281	0.7	307	0.6
合計	45,819	100.0	38,761	100.0	53,069	100.0

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

セグメントの名称	受注高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	受注残高 (百万円)	構成比 (%)
ロボットソリューション	38,185	90.0	36,174	92.2	59,308	88.8
マシンツール	3,487	8.2	2,215	5.6	6,917	10.4
報告セグメント計	41,673	98.2	38,390	97.8	66,226	99.2
その他	738	1.8	842	2.2	545	0.8
合計	42,411	100.0	39,233	100.0	66,771	100.0

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

セグメントの名称	受注高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	受注残高 (百万円)	構成比 (%)
ロボットソリューション	149,860	91.7	136,863	92.4	57,298	90.1
マシンツール	10,064	6.1	8,106	5.5	5,644	8.9
報告セグメント計	159,925	97.8	144,969	97.9	62,943	99.0
その他	3,547	2.2	3,159	2.1	649	1.0
合計	163,473	100.0	148,128	100.0	63,592	100.0

(2) 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位:百万円)

セグメントの名称	日本	中国	他アジア	米国	他北米	ヨーロッパ	その他	合計
ロボットソリューション	2,071	20,086	7,125	3,167	602	3,482	349	36,885
マシンツール	549	349	167	199	297	27	3	1,595
報告セグメント計	2,621	20,436	7,293	3,367	899	3,509	352	38,480
その他	277	—	3	—	—	—	—	281
合計	2,898	20,436	7,297	3,367	899	3,509	352	38,761
構成比(%)	7.5	52.7	18.8	8.7	2.3	9.1	0.9	100.0

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

セグメントの名称	日本	中国	他アジア	米国	他北米	ヨーロッパ	その他	合計
ロボットソリューション	1,003	11,174	11,329	5,510	2,254	4,186	714	36,174
マシンツール	833	439	70	491	295	84	0	2,215
報告セグメント計	1,837	11,613	11,400	6,002	2,550	4,270	715	38,390
その他	837	2	2	—	—	—	—	842
合計	2,675	11,615	11,402	6,002	2,550	4,270	715	39,233
構成比(%)	6.8	29.6	29.1	15.3	6.5	10.9	1.8	100.0

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

セグメントの名称	日本	中国	他アジア	米国	他北米	ヨーロッパ	その他	合計
ロボットソリューション	9,751	69,272	25,531	11,932	3,818	14,473	2,083	136,863
マシンツール	3,343	1,419	502	1,381	1,210	199	48	8,106
報告セグメント計	13,095	70,691	26,034	13,314	5,028	14,672	2,131	144,969
その他	3,148	2	7	—	—	—	—	3,159
合計	16,244	70,694	26,041	13,314	5,028	14,672	2,131	148,128
構成比(%)	11.0	47.7	17.6	9.0	3.4	9.9	1.4	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

参考資料

2023年3月期 第1四半期決算発表

2022年8月5日

株式会社 F U J I

(コード番号 6134 東証プライム・名証プレミア)

1. 当期の連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
第2四半期連結累計期間	79,000	8.9	13,400	△9.2	14,500	△4.9	10,500	△6.0
通期	165,000	11.4	29,200	2.6	30,600	2.2	21,800	2.9

2. 当期の連結受注高・売上高の予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(百万円未満切捨)

セグメントの名称	受注高		売上高	
	第2四半期連結累計期間	通期	第2四半期連結累計期間	通期
ロボットソリューション	69,000	143,000	71,500	148,000
マシントール	6,500	14,500	6,000	13,500
その他	1,500	3,500	1,500	3,500
合計	77,000	161,000	79,000	165,000

3. 当期の主な科目の第1四半期連結累計期間実績と第2四半期連結累計期間及び通期予想

(2022年4月1日～2023年3月31日)

(百万円未満切捨)

科目	第1四半期連結累計期間実績	第2四半期連結累計期間予想	通期予想
設備投資額	2,399	8,500	13,400
減価償却実施額	2,074	4,100	8,600
研究開発費	2,225	4,600	8,200